

授業科目名・形態	医療と福祉の英語 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	佐藤 公彦	実務経験の有無	無	開講期	4年後期

【授業の主題】

現代の医療専門職には国際感覚も求められます。英文 news、review、専門論文の読解と英文論文発表などが含まれます。国際学会発表ではそれに伴う宿泊予約、観光案内、shopping などもあります。この演習ではこれらに関連して本学図書館にある英文専門誌、The British Journal of Social Work と Research in Nursing & Health の中の適当な論文を選んで読解します。ネット辞書、翻訳機（無料）を用いて簡便に行います。

【到達目標】

1. 英文専門誌の基本的な読解力 literacy(読み、書き、そろばん)を身に付ける：英文論文は医学用語が数多いため一見複雑で難しそうですが文法は S+V で簡単です。
2. 読解の基本的な技術、ネット、スマホ辞書、翻訳機の利用法を身につける。
3. 英文タイプ法、blind touch method を修得する。
4. 英文論文のまとめ方と投稿法の概略を知る。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 日本の医学は欧米医学の翻訳医学：専門用語は英語、ドイツ語、ギリシャ語、ラテン語の和訳です。特に、ドイツ語の影響が現在も大きいことを解説します。なお、1つの語源から10の派生語が分ります。
- 第 2 回 医療用語のネット検索、翻訳機の利用法の修得：こまめに調べることが大切です。
- 第 3 回 英文のタイピング：読解には英文を touch method/blind touch method で打ち込めると楽です（練習ソフトがAO機器室のPCに入っています）。
- 第 4 回 英文専門論文の選択：図書館で Research in Nursing & Health および The British Journal of Social Work の中から各自の興味を惹く論文を探す。
- 第 5 回 各論文の Abstract を typing し和訳する（最初は結構大変です）。
- 第 6 回 訳文を検討し、推敲する（担当者も分からない時は一緒に調べます）。
- 第 7 回 Introduction を読解する（論文の背景が分かります）。
- 第 8 回 同様に訳文を検討し、推敲する。
- 第 9 回 Result 部分を読解する（実験、または収集データが図表と共に示されています）。
- 第 10 回 訳文を検討、推敲する（読むだけでも可です）。
- 第 11 回 Discussion/Summary 部分を読解する（同上）。
- 第 12 回 理解の難しい部分、問題点を総合的に検討する（読解の進行度は各自異なります）。
- 第 13 回 英文論文作成法の修得：英文論文は実験、収集によって得られたデータに基づいて作成します。論文は目的、方法、結果、考察が section 毎に記述されています。
- 第 14 回 国際学会発表、宿泊手続き、観光案内、shopping などの予備知識の学習。
- 第 15 回 これまでに学んだ課題を総合的に検討する。

【授業実施方法】

講義および和訳文の添削と対話を個別に行います。

【授業準備】

英文読解が中心のため、特に予習する必要はありません。

【主な関連する科目】

英語 RS、英語 CS

【教科書等】

教科書は用いません。論文をコピーする費用が若干要ります。

【参考文献】

本学図書館購読誌「The British Journal of Social Work」と「Research in Nursing & Health」

【参考文献】

同上。

【成績評価方法】

レポート/和訳文（80%）と授業態度等（20%）から評価します。

【学生へのメッセージ】

当大学でも和文のみでなく英文論文発表、国際学会発表が増加しています。近い将来のために英文の原著論文を読んでおく医療人として大きく成長出来ることでしょう。In brief, it's profitable.